

施設の基本設計が まとまりました！ ～生出地域複合化公共施設整備～

生出地域複合化公共施設整備については、地域の皆様からのご意見を踏まえ、令和4年度に基本計画を策定し、令和5年度には基本設計を実施しました。
今回のニュースレターでは、令和5年度に実施した地域意見交換会を通じ、皆様から頂いた意見を反映して完成した「生出地域複合化公共施設基本設計」の概要をお知らせします。

◆基本設計の概要：③各施設の面積比較（現況面積・基本設計時面積）

新設及び複合化を予定している各施設の現在の面積と基本設計時点での想定面積との比較は下記のとおりです。

施設名称	現況面積	基本設計時面積	面積増減
■市民センター	1,094.00㎡	1,222.33㎡	128.33㎡
■老人憩の家(※)	132.00㎡	(市民センター面積に含む)	-132.00㎡
■保健センター	372.00㎡	132.10㎡	-239.90㎡
■診療所(内科)・薬局	400.00㎡	329.20㎡	-70.80㎡
■証明発行センター	58.00㎡	40.00㎡	-18.00㎡
■児童館	-	330.30㎡	330.30㎡
合計	2,056.00㎡	2,053.93㎡	-2.07㎡

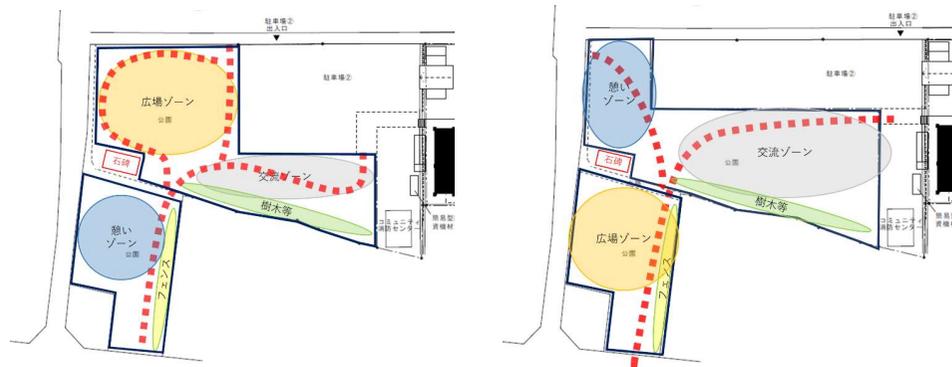
※市民センターの諸室の一部とする。(②平面図の老人憩の家スペース部分)

◆隣地公園整備について

公園については、駐車場とともに現市民センター等の敷地に整備する方針です。令和5年度に実施した地域意見交換会においては、複合化施設本体の基本設計のほか、複合化施設に隣接する公園整備についても、仙台市からレイアウト案をお示しし、地域の皆様からご意見を募りました。

地域意見交換会の場では、公園と複合化施設との接続や、公園内の回遊性、公園の活用のアイディア等、様々なご意見をいただきました。

詳細の設計は、今後開催を予定する公園整備にかかるワークショップ等において、検討していく予定です。



隣接公園・駐車場レイアウト(案) ※図は令和5年度第3回地域意見交換会開催時のものです。

◆今後について

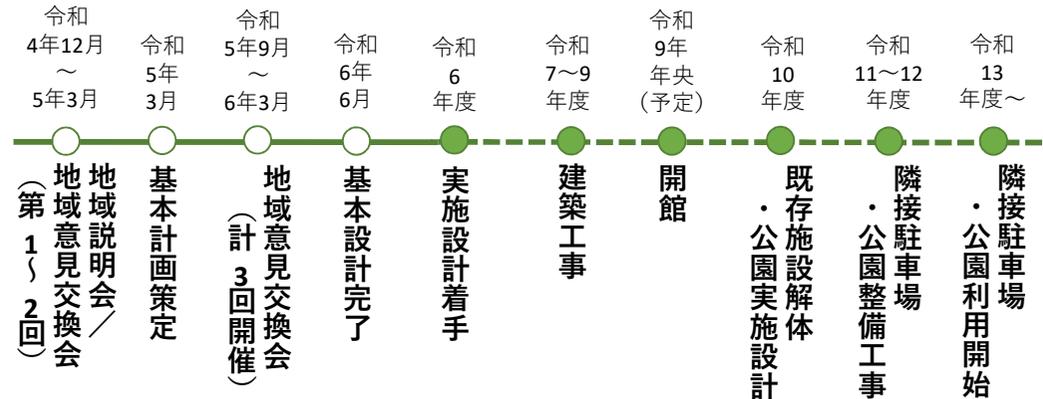
今年度取り組む実施設計においては、引き続き地域の皆様と連携しながら、基本設計をより具体的なものにし、令和7年度からの建築工事につなげていきます。
また、隣接駐車場及び公園についても、地域の皆様のご意見等を伺いながら詳細の検討を進め、あわせて着工後の進捗状況等についても、機会をとらえながらお知らせいたします。

◆生出地域複合化公共施設整備について

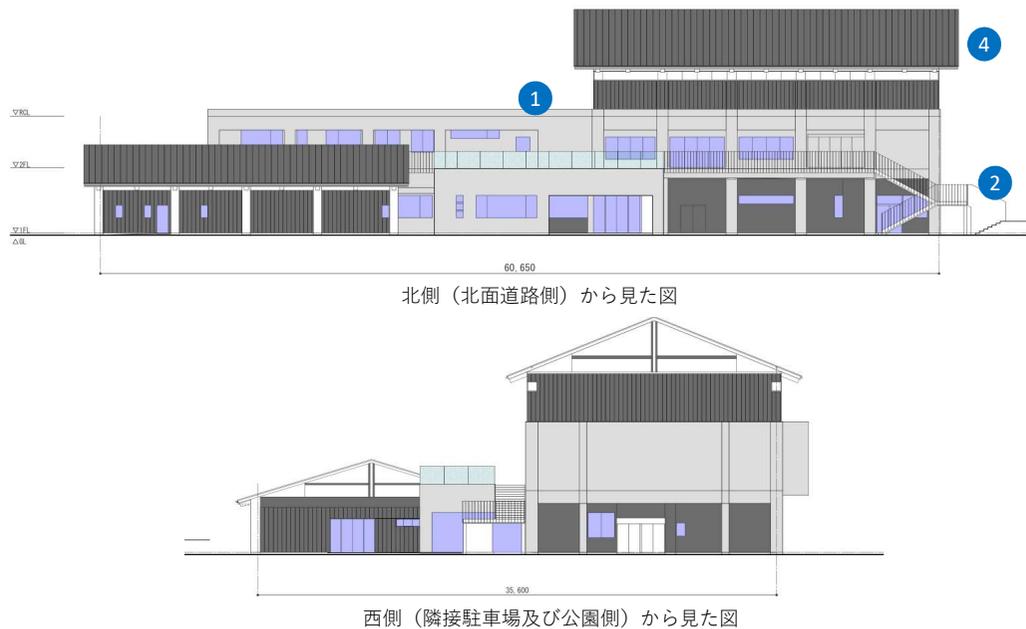
- 建設予定地
現在の市民センター等の隣の敷地に建替える計画です。
- 施設機能
新たな施設には、「市民センター(老人憩の家スペース含む)」「保健センター」「診療所(内科)・薬局」「証明発行センター」の機能に加え、「児童館」の機能を新たに整備することとしています。

◆想定スケジュール

令和6年度は実施設計を予定しており、令和9年年央での開館を目指します。



◆基本設計の概要：①立面図



●設計上のポイント

主な設計上のポイントは以下の通りです（各項目の番号は立面図及び平面図に記載した番号と対応しています）。

①外観デザイン

外観は地域のランドマークとしてふさわしいデザインを意識し、周辺に点在する古民家をモチーフとしました。体育館等の屋根は切妻造としています。

②外廊下への接続階段について

隣接駐車場からの出入りや地域のイベントに使用する資機材運搬の際の動線を考慮し配置しています。

③交流スペースについて

地域住民をはじめとした利用者の方々が、気軽集える交流スペースを施設の中心に配置しています。また、カウンター席用のスペースも確保し、単独での利用も気軽に行えるよう配慮しています。吹抜の空間は和モダン調のデザインとし、居心地の良い空間を目指します。

④ZEB化について

本施設は、公共施設の脱炭素化に向けた、ZEB化（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の先行実施施設として位置付けており、体育館屋根等に、太陽光パネルを設置する想定です。

◆基本設計の概要：②平面図

